

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
教職実践演習（中学校） Practice of Teaching Profession (Junior High School)		情報メディア学科	2年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2		坪郷 好夫	
概要				
<p>短大2年間の学びで修得した知識と教育実習等で習得した教科指導力や生徒指導力の実践力の進化・統合を図り、使命感や責任感に裏打ちされた確かな実践的指導力を有する教員としての資質の構築とその確認を行うことを目的とし、次に示すテーマに取り組む。</p> <p>①使命・責任感や教育的愛情 ②社会性や対人関係力 ③生徒理解（カウンセリング）や学級経営力 ④教科内容の指導と評価 ⑤授業の演出力</p> <p>授業の概要：主な授業の形態は、講義や演習、発表等を組み合わせ、実際の教育現場を想定した教育課題を取り扱う。</p>				
到達目標				
<p>(1) 生徒とのコミュニケーションの取り方が説明できる。</p> <p>(2) カウンセリング技術を習得し、生徒の気持ちが受容できる。</p> <p>(3) 模擬授業を実施し、授業の問題点を具体的に述べるができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス</li> <li>2 履修学生の修学内容の検証と教職科目との関わりについて ―グループ討論―</li> <li>3 教員としての責任や職業観の確立、指導的立場について ―講義・グループ討論―</li> <li>4 組織の一員としての自覚、保護者や地域関係者との信頼感等の構築方法論 ―講義[現職講師]・グループ討論―</li> <li>5 教員の社会性向上と対人関係能力のブラッシュアップ</li> <li>6 生徒の理解と生徒指導 ―グループ討論―</li> <li>7 単元を見通した指導案の作成と実践 ―グループ討論―</li> <li>8 学校現場の見学・調査</li> <li>9 学校現場についての検証 ―グループ討論―</li> <li>10 理科指導方法の向上について（実験・観察方法） ―講義・グループ討論―</li> <li>11 授業設計と教案の作成 ―講義[現職講師]・グループ討論―</li> <li>12 模擬授業の実施</li> <li>13 模擬授業の反省と指導内容の評価 ―グループ討論―</li> <li>14 理科指導内容についての討議 ―グループ討論―</li> <li>15 理科教員としての資質と能力の確認、まとめ</li> </ol>				
テキストおよび 参考文献	<p>講義要項、資料プリントはその都度配布 参考文献：文部科学省「中学校学習指導要領 理科編」 中学校理科教科書（1年～3年 東京書籍）</p>			
メッセージ など	<p>現場の学校をモデルにして、授業成立のための必要な知識や技術を習得する講座です。</p>			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 生徒とのコミュニケーションの取り方が説明できる。	生徒とのコミュニケーションの取り方が十分できる。	大きな問題なく生徒とのコミュニケーションができる。	色々問題点はあるが、なんとかコミュニケーションを取ることが出来る。	生徒とのコミュニケーションが取れない。	レポート 教育実習	40%
(2) カウンセリング技術を習得し、生徒の気持ちが受容できる。	カウンセリング技術が十分習得でき、生徒の気持ちが受容できる。	大きな問題なくカウンセリング技術が習得でき、生徒の気持ちが受容できる。	色々問題点はあるが、カウンセリング技術が習得でき、生徒の気持ちが受容出来る	カウンセリング技術を習得して生徒の気持ちが受容できない。	カウンセリングの実技 実技観察レポート 教育実習	20%
(3) 模擬授業を実施し、授業の問題点を具体的に述べることができる。	模擬授業を実施して問題点を具体的に完璧に述べる事が出来る。	大きな問題なく模擬授業の問題点を具体的に述べる事が出来る。	色々問題点はあるが、模擬授業の問題点を具体的に述べる事が出来る。	模擬授業の問題点を具体的に述べる事が出来ない。	レポート 発表内容	40%